

開成アカデミー日本語学校
平成30年度自己点検・評価報告書

開成アカデミー日本語学校では教育理念の達成と日本語教育機関としての向上を図るため、常勤監査役、内部監査室長、日本語教育事業部長、運営課長を構成メンバーとする「自己点検評価委員会」を設置し、以下の通り『自己点検・評価報告書』を作成いたしました。

【評価について】

H: 十分達成している A: 達成している
B: 一部未達成 C: 未達成

点検・評価項目		理念・教育目標		
〈理念・ミッション〉				
アジア地域との人材交流を通じて、アジアおよび日本地域社会の活性化及びグローバル化を目指し、世界で活躍できる人材を育成します。				
〈行動指針〉				
一、私たちは本校の日本語教育を通じて、学生の日本語習得の支援を行うと共に、世界の平和と親善促進に貢献します。				
二、私たちは充実した指導体制のもとに、学生が効率よく日本語を習得できるよう力を尽くします。				
三、私たちは学生の日本語指導だけでなく、広い分野での知識を習得し、学力を高めていけるように努めます。				
四、私たちは学生が楽しく意義深い留学生生活を日本で体験できるよう、生活面や心の面でのサポートを行います。				
〈教育目標〉				
一、大学、専門学校への進学率100%を目指します。				
二、進学のための日本語教育に留まらず、日本での就職等に役立つ実用的日本語の教育を行います。				
三、日本での生活を通じて、日本の文化、習慣、考え方を教育し、広い視野と公平な判断力を培う教育を行います。				
1. 学校運営		確 認		
1.1	日本語教育機関の告示基準に適合している。【注】	別資料にて、項目に分けて確認している		
2. 入学者の募集		評 価	根拠資料	説 明
2.1	教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。	(H) A B C	募集要項 翻訳版	生徒募集を行う国で説明会を実施し、経費支弁者・入学志願者の両方に母国語で必要事項の説明を実施している。
2.2	海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	(H) A B C	仲介会社リスト 仲介会社評価資料 入学者選考に係る費用等	生徒募集を行う国で仲介会社とともに説明会を実施し、学生が仲介会社に支払うべき費用及び内容を伝達している。また、仲介会社との提携基準や仲介会社の評価基準を明確にし、定期的に仲介会社の評価を行っている。
3. 入学者選考			根拠資料	説 明
3.1	入学者の選考に関し、学習能力、勉強意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。	(H) A B C	現地面接 入学願書・誓約書	現地で経費支弁者・学生の面接を行い、動機、学習意欲、経費支弁能力を確認している。また日本語能力に関しては面接と合わせて日本語能力試験の証明書を確保している。
3.2	入学者の選考に当たっては、学校関係者（職員等）が面接等を行うよう努めている。	(H) A B C	現地面接シート	面接にあたっては各志願者について現地面接シートを作成し選考を行っている。評価・合格基準を定めており、一定の基準を満たした入学志願者のみを受け入れるようにしている。
4. 納付金			根拠資料	説 明
4.1	入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。	(H) A B C	募集要項	入学検定料、入学金、授業料その他の納付時期、納付方法及び入学後に必要と思われる費用等の情報を募集要項に記載して学生に周知を図っている。

4.2	関係諸法令に基づいた学費返還規程を定め公開している。	(H) A B C	募集要項	関係諸法令に基づいた学費返還に関するルールを学校規則に定め、かつ募集要項にも記載している。
4.3	上記4.1及び4.2については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。	(H) A B C	募集要項 翻訳版	募集要項の翻訳版(中国語、ベトナム語、英語、ハングル等)を作成し、入学志願者、生徒及びその経費支弁者に渡して必要要項の周知を図っている。
5. 学生支援			根拠資料	説明
5.1	日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。	(H) A B C	学校説明資料 地域イベント	当校は地域交流を重視しており、地元で開催される防災訓練、お祭り、地域交流イベント等に参加している。また日本文化への理解を深めてもらうために年2回遠足を実施している。
5.2	進路指導を適切に行っている。	(H) A B C	進学合格ガイドブック 学期ごとに2回個人面談	学生ごとに年間4回(学期2回)ずつ担任教師が進路指導を実施している。進学合格ガイドブックを一人一人に配布して、活用している。
5.3	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。	(H) A B C	オリエンテーション資料・感染症対応マニュアル	オリエンテーション資料や感染症対策マニュアルに学生を病院に連れていく基準などを明記している。生徒を病院に連れていく場合には日本語の通訳を兼ねて、事務スタッフが付きそうようにしている。
5.4	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	(H) A B C	通知文	当校には多くの学生の出身国である中国人、ベトナム人の事務職員が在籍しており、定期的に学生への情報伝達や指導を行い、必要に応じて学生の相談に乗っている。
5.5	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	(H) A B C	関連ニュース記事を翻訳して配布 アルバイト届 防犯講習	警察署に協力してもらい、学校での防犯講習や通知文などで啓蒙活動をしている。
6. 教員			根拠資料	説明
6.1	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。	(H) A B C	職務説明表	各職員の担当職務を記載した職務説明表を作成し、職員で共有し周知を図っている。
6.2	教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施すると共に、他機関の実施する研修会等への参加を促している。	(H) A B C	教員研修計画	新任教員のための研修(着任後1～3か月)を実施すると共に、教務主任がOJTとして随時、新任教員の授業観察を行って指導をしている。また、校外で開催される研修会の情報を共有し受講の機会を周知している。
6.3	教員評価を適切に行っている。	(H) A B C	目標管理シート 非常勤考課表	専任教員は目標管理シート(4月・10月)、非常勤講師は非常勤考課表を用い、勤務評価を実施している。
7. 教育活動			根拠資料	説明
7.1	理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。	(H) A B C	カリキュラム	本校の設立理念・教育目標に合わせて、各コース(2年、1.5年)を設定している。各コースにおいて適切なカリキュラムを作成し、授業の指針を明確化している。
7.2	授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っている。	(H) A B C	プレースメント テスト実施要項	面接や試験等の結果を踏まえて、生徒の日本語能力を判定し、能力別のクラス編成を実施している。
7.3	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	(H) A B C		学期開始1か月前までには、各教員の能力、経験、保有資格等を元に、授業の担当レベルを決定している。

7.4	授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。	H (A) B C	授業記録簿	各教員は授業後直ちに授業記録簿に実施した授業の記録を行う。授業記録簿の管理は教務主任が行っている。当校教員は毎日8:40-8:50に教員朝礼を実施し、さらに毎週1回は担任会議を実施するなど教務方針や情報などの共有及び連携を図っている。
7. 教育活動			根拠資料	説明
7.5	理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。	H (A) B C	定期テスト	当校では半期(6か月)に2回定期試験(中間・期末)を実施し、生徒の成績判定を行っている。結果は学期末に各担任より生徒に通知するとともに成績表によるフィードバックを行う。
7.6	授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。	H (A) B C	教員会議の議事録	随時教務主任が授業観察を行い、授業評価を実施する。また、学期終了時(6か月ごと)、教員会議において教育活動評価を実施している。
8. 教育施設			根拠資料	説明
8.1	教室内は十分な照度があり換気がなされていると共に、語学教育に必要な遮音がなされている。	H (A) B C	教室環境	照度や換気については告示基準を満たしており、生徒に快適な学習環境を提供している。
8.2	授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。	H (A) B C	図書室、空き教室	生徒は図書室及び授業が行われていない教室において自習が可能である。
8.3	告示基準で必要な設備等を備えている。	(H) A B C	教室設備	告示基準で必要とされている設備等は完備している。
9. 安全・危機管理			根拠資料	説明
9.1	対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	(H) A B C	国民健康保険の手続きの代行、留学生補償制度履行費用共済の加入	国民健康保険に関しては、入国後、事務スタッフが代理で手続きを行っている。留学生補償制度履行費用共済も学校側の負担で加入している。
9.2	感染症発生時の措置を定めている。	H (A) B C	感染症対応マニュアル	オリエンテーション資料や感染症対策マニュアルに学生を病院に連れていく基準などを明記している。生徒を病院に連れていく場合には日本語の通訳を兼ねて、事務スタッフが付き添うようにしている。
9.3	気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知している。	H (A) B C	警報のお知らせ 避難経路	休講などの指示は校長を起点に各教員やスタッフ等への連絡網を整えている。避難経路に関しては、教室に掲示するとともに防災訓練などで伝えている。
10. 法令の遵守等			根拠資料	説明
10.1	法令遵守に関する担当者を定めている。	H (A) B C	職務説明表	職務説明表において運営課長を法令順守に関する担当者として定めている。
10.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	H (A) B C	全体会議でのコンプライアンス説明	年間2回の全体会議にて、コンプライアンス事例を共有している。
10.3	個人情報保護のための対策をとっている。	H (A) B C	誓約書 個人情報管理規程	教職員は成学社に入社するに際し誓約書に署名を行っている。誓約書には個人情報保護に関する事項やコンプライアンスに関する事項が含まれており、教職員はそれらの事項を遵守することを誓約している。
10.4	入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	H (A) B C	過去の届け出・報告	関係官庁への届出事項等に変更などあった場合には遅滞なく届け出や報告を行っている。